



青山学院幼稚園

Aoyama Gakuin Kindergarten

教育(保育)理念

青山学院幼稚園は、青山学院教育方針にもとづき、豊かな自然の中で園児がいるいるな人と共に生活することにより、神様の恵みと守りを感じ、祈りと感謝と喜びの生活が実現できる保育を目指すものである。

青山学院幼稚園の保育目標は、次のとおりである。

- 神様やまわりの人々に愛される体験の中で、祈りのうちに生活する。
- 自然の恵みの中で生活し、神様の存在を身近に感じ、恵みとして与えられる環境を大切にする。
- 感謝と喜びのうちに生活し、まわりの人々に対する信頼感・思いやりの心をもつ。
- 意欲をもって生活し、よく聴く、よく観る、よく考える。
- それぞれに与えられた力を十分に表し、お互いをかけがえのない存在として認め合う。

神様の愛に包まれて

先生、友だち、自然と出会う

幼稚園では、一人ひとりの個性を伸ばし、思いやりと優しさのある心を育みます。その生活全体を支える土台となっているのが、神様への礼拝です。美しいスタンドグラスに彩られた礼拝室で、四季折々の自然を感じられる園庭で、あるいは園外で行われるさまざまな行事に際して、みんなで一緒に聖書のお話に耳を傾け、神様に讃美をささげます。日々の礼拝を通して神様の存在を感じ、愛され守られている安心感と喜びに満たされていくとともに、仲間と心を寄せ、自然界の恵みに気づいていきます。

日々の遊びを通して

「信頼・喜び・感謝」の心を育む

幼稚園の保育では、3年間の園生活の中で自分のやりたいことを見つけ、それに主体的に取り組むことを一人ひとりの子どもに望んでいます。その「自己発揮」の場が、幼稚園生活の中心となる“遊び”

です。学年ごとに「信頼」「喜び」「感謝」という生活目標を掲げて、それぞれの個性を大切にしながら、互いに思いやりの心をもって共同生活ができる心を育みます。

年少【信頼】

多くの子どもたちにとって集団での生活は初めての体験ですが、保育者に受け入れられて過ごす中で育まれる信頼感をもとに、少しずつ自分の世界を広げていきます。そして、徐々に友だちと一緒にいること、友だちと一緒に遊ぶことの楽しさを感じていきます。

年中【喜び】

身体を思い切り使って遊んだり、やりたいことにじっくり取り組む充実感。友だちと笑い合ったり、時にはけんかをして葛藤や不安を覚えながらもそれを乗り越え、仲間と息を合わせて通じ合う喜び。幼稚園にいる動物との触れ合いや世話を通して感じる命の尊さ。どれもが幼稚園で味わってほしい大切な経験です。

年長【感謝】

緑豊かな幼稚園の中で植物を育て、収穫する経験から、子どもたちは四季の恵みを感じ取るとともに、友だちと一緒に神様のなさる業に喜びと感謝の気持ちを抱くようになります。また、力を合わせてひとつのことを成し遂げる体験を通して、神様がともにいる仲間を与えてくださっていることを知ります。このように、生活を通してさまざまな恵みを与えてくださる神様に感謝することを大切にしています。

豊かな知性と感性を育む教育環境



園庭

季節ごとにビワや梅、秋にはブドウ、柿、みかん、銀杏など、豊かに実を結ぶ果樹がたくさんあり、神さまからの恵みを感じ取ることができます。



絵本コーナー

子どもたちの大好きな絵本が1200冊以上。日本の絵本はもちろん、世界各国の言語の絵本が置いてあり、世界の多様な文化を知る最初の一歩となっています。



木工コーナー

木を切ったり、くぎを打ったり、作る楽しさをいつでも味わえるように、安全な工具と材料を常備しています。